



台湾株式市場の魅力について

2026年6月
台湾証券取引所

概要

- 01 台湾について
- 02 台湾株式市場の3つの魅力
- 03 世界経済の成長を牽引する台湾企業
- 04 台湾企業へ投資するには

01



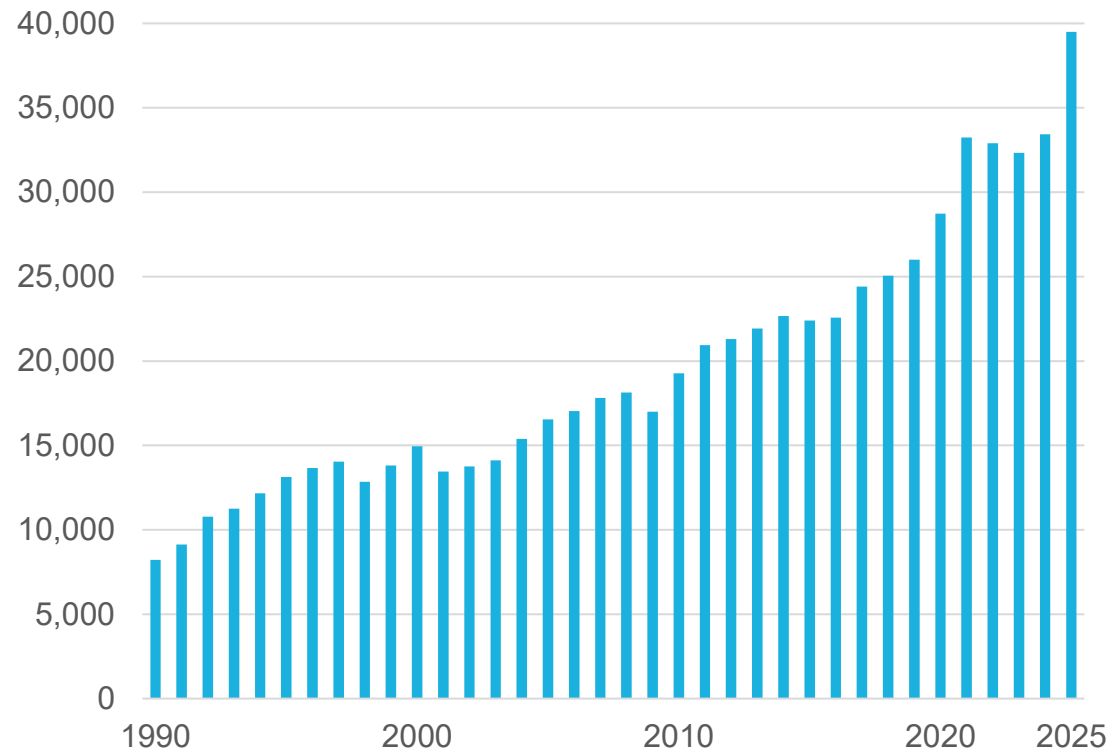
台湾について

国土	約3.6万平方km 九州より一回り小さい
人口	約2,342万人
GDP	7,560億米ドル
一人当たりGDP	33,437米ドル
経済成長率	5.6% (2015-2025年の年率換算)
通貨	台湾ドル 1 台湾ドル = 約5.0円

着実に成長する台湾経済

一人当たりGDP

(米ドル)



出所:IMFなど

アジアの都市に近い台北

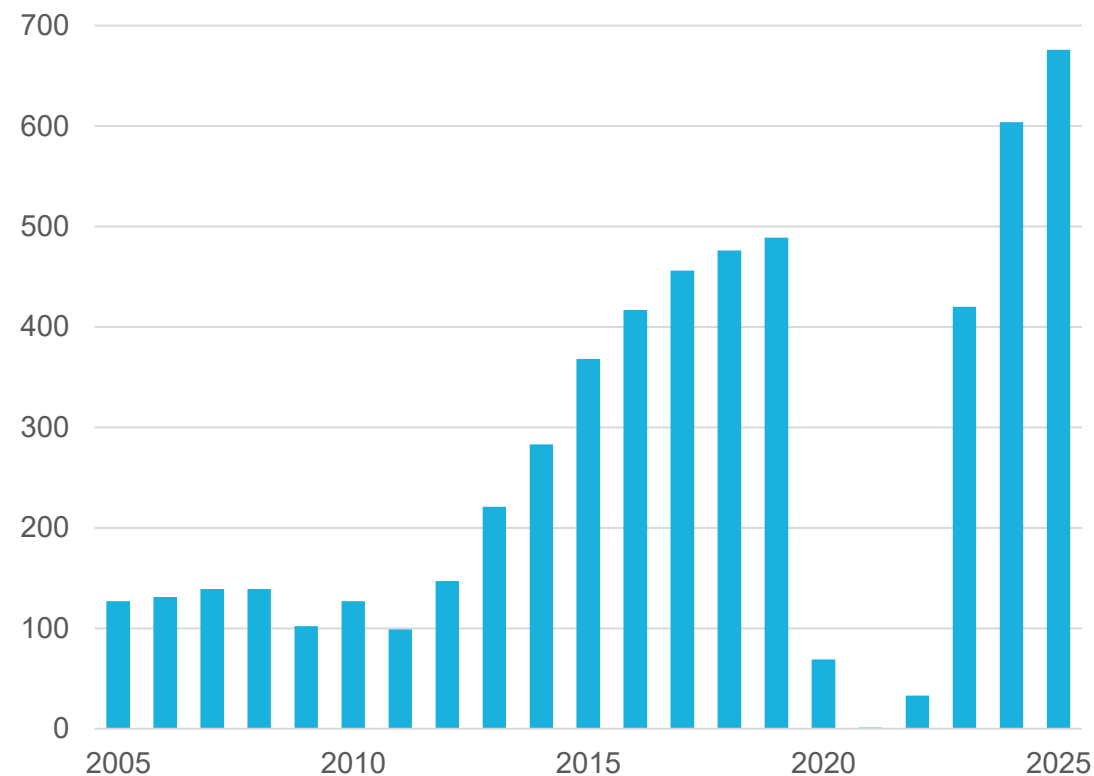
フライト時間（概算）

	台北	東京
上海	約1.5時間	約4時間
香港・深圳	約1.5時間	約5.5時間
バンコク・ホーチミン	約3.5時間	約6-7時間
ジャカルタ	約5.5時間	約7.5時間
シンガポール	約4.5時間	約7.5時間
ソウル	約2.5時間	約2.5時間
マニラ	約2時間	約4.5時間

- 高い親日度
- 東日本大震災での義援金世界一
- 日本映画の人気（「君の名は。」、ジブリなど）
- 増加する観光客（日・台湾とも）
- 企業どうしのつながりも深い
- 元デジタル担当大臣オードリー・タン氏
著書『オードリー・タン デジタルとAIの未来を語る』発行部数17万部以上

増加する訪日台湾人

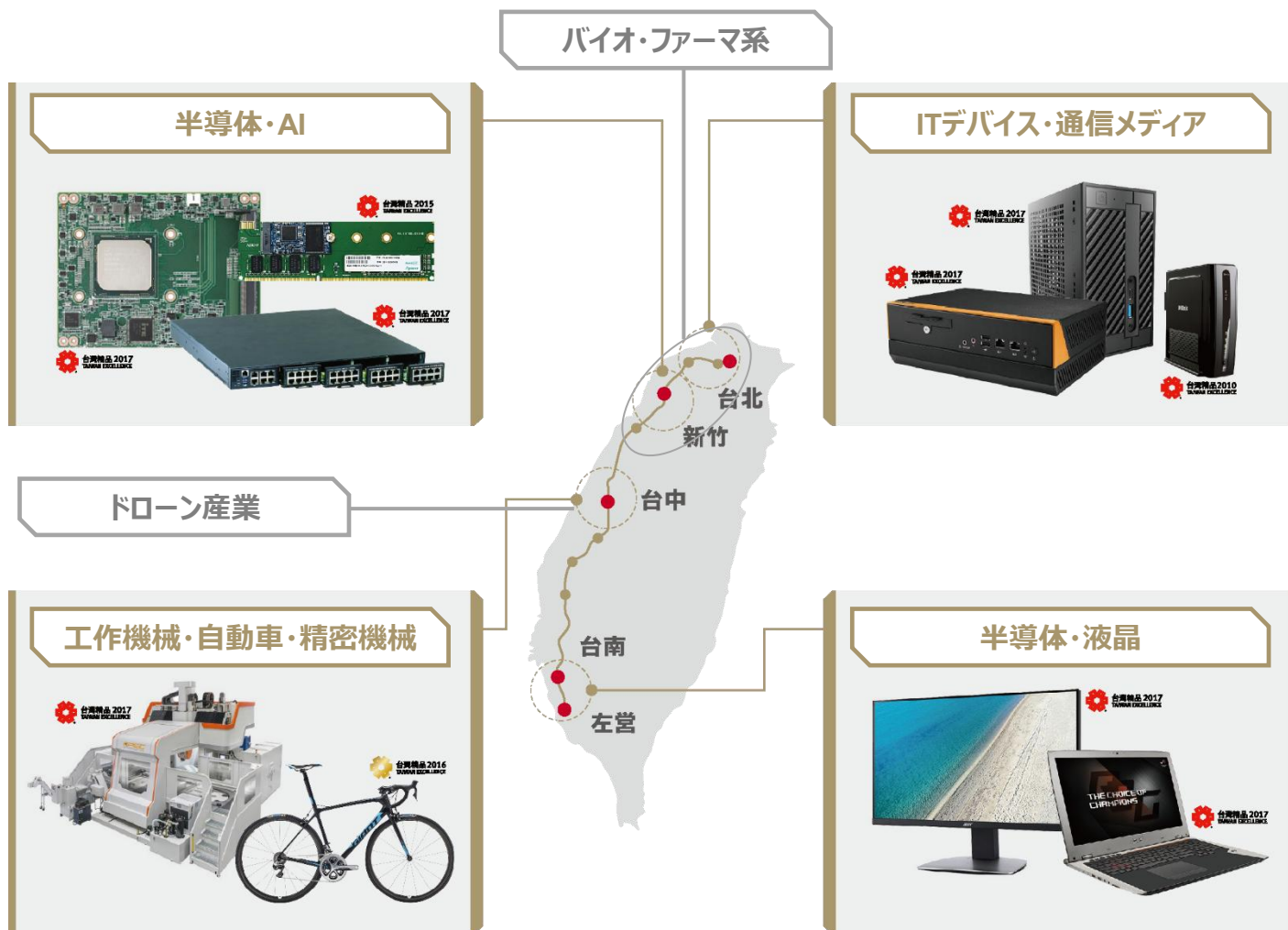
(万人)



出所:日本政府観光局

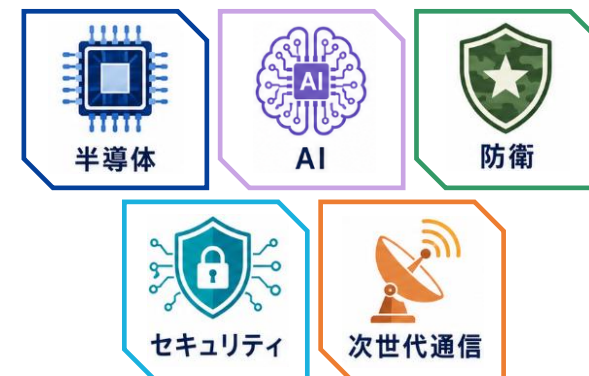
01 台湾について

IT・ものづくりからバイオ・医療まで



経済政策

5大信頼産業



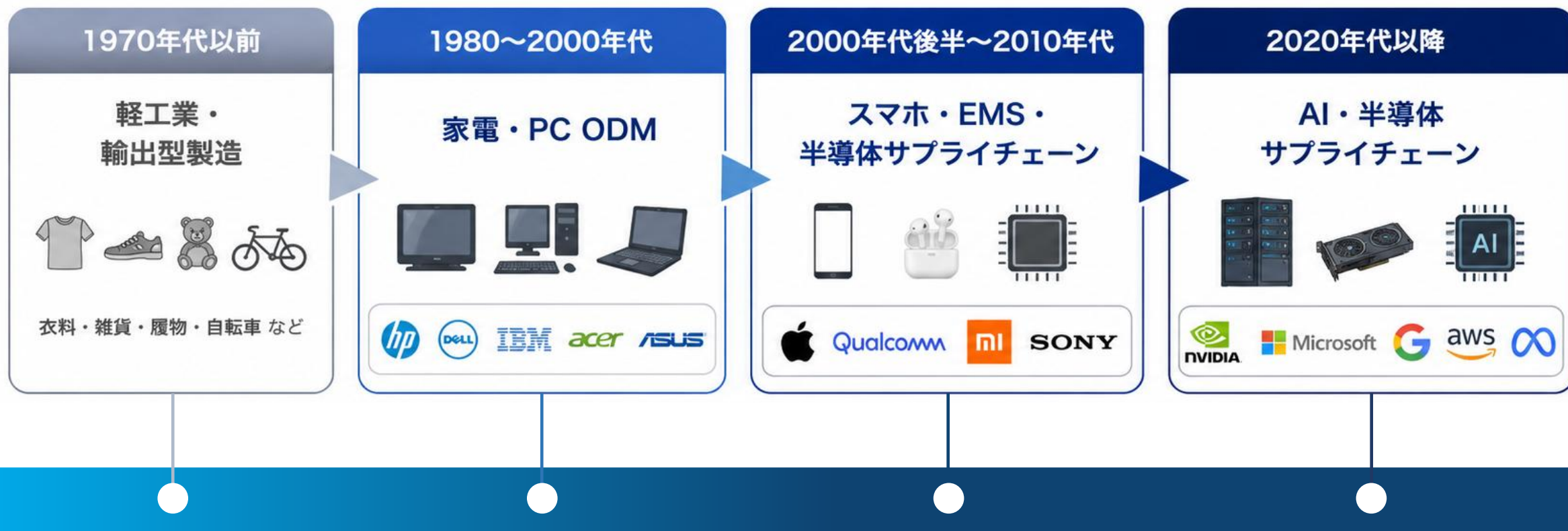
台湾政府は、半導体・AI・防衛・セキュリティ・次世代通信を「5大信頼産業」と位置づけ、政策的な育成を進めている。

さらに、医薬品供給網の強靱化にも投資し、バイオ・ヘルスケア分野の基盤強化を進めている。

01 台湾について

世界の成長産業とともに高度化してきた台湾企業

世界を牽引する企業とともに培ってきた力が、AI時代における台湾の競争力を支えている。





02

台湾株式市場の 3つの魅力

台湾市場 3つの魅力

魅力
1

Growth

AI・半導体に投資するなら台湾

AI時代の成長の中心に、
台湾の半導体サプライチェーンがある

魅力
2

Quality

成長と還元を両立できる市場

高い株主還元・ガバナンス・海外投資家
の評価が市場の“質”を裏づける

魅力
3

Risk Management

分散でリスクに備える

市場と製造の分散で、
地政学リスクに現実的に備えている

魅力

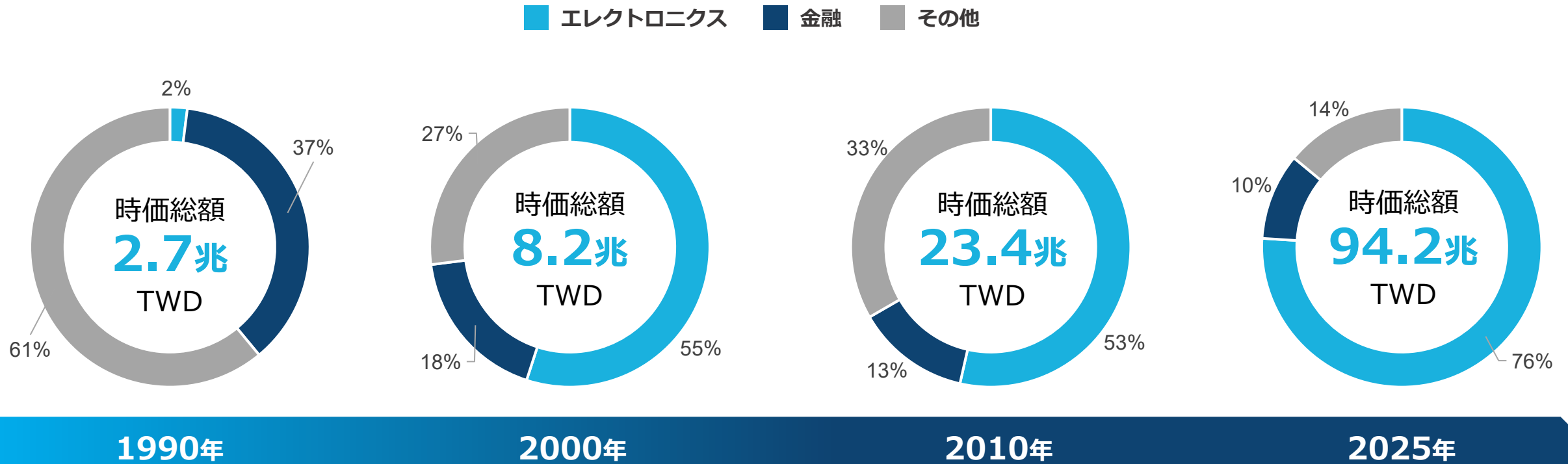
1

Growth

AI・半導体に投資するなら台湾

生成AIの成長は、半導体・AIサーバー・電源・冷却・基板へと波及する。
その中心に、台湾の企業群がいる。

台湾株式市場は30年で大きく拡大

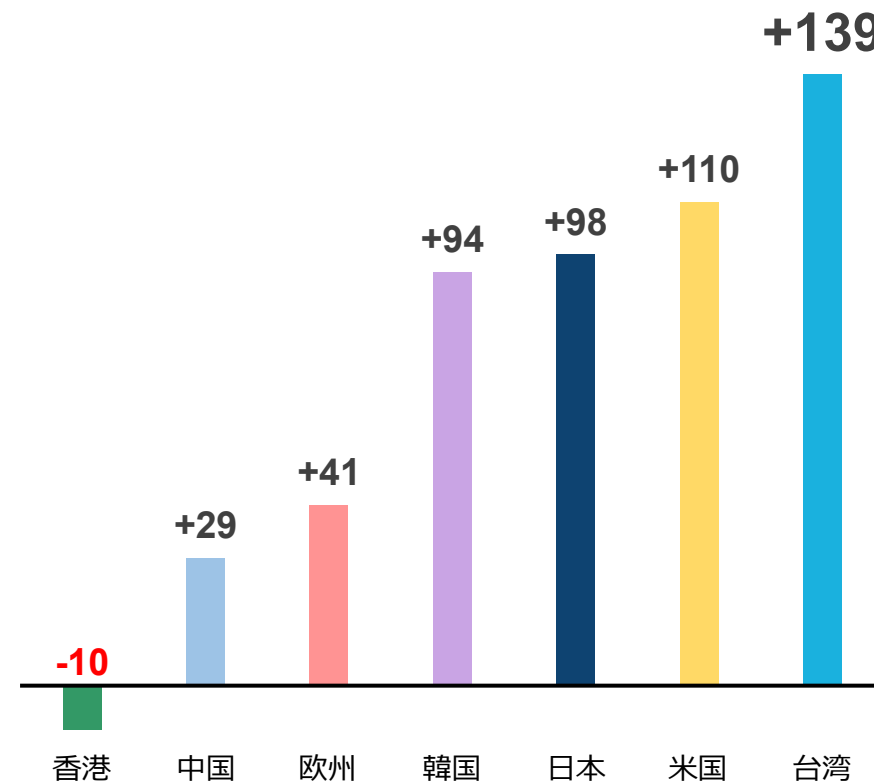
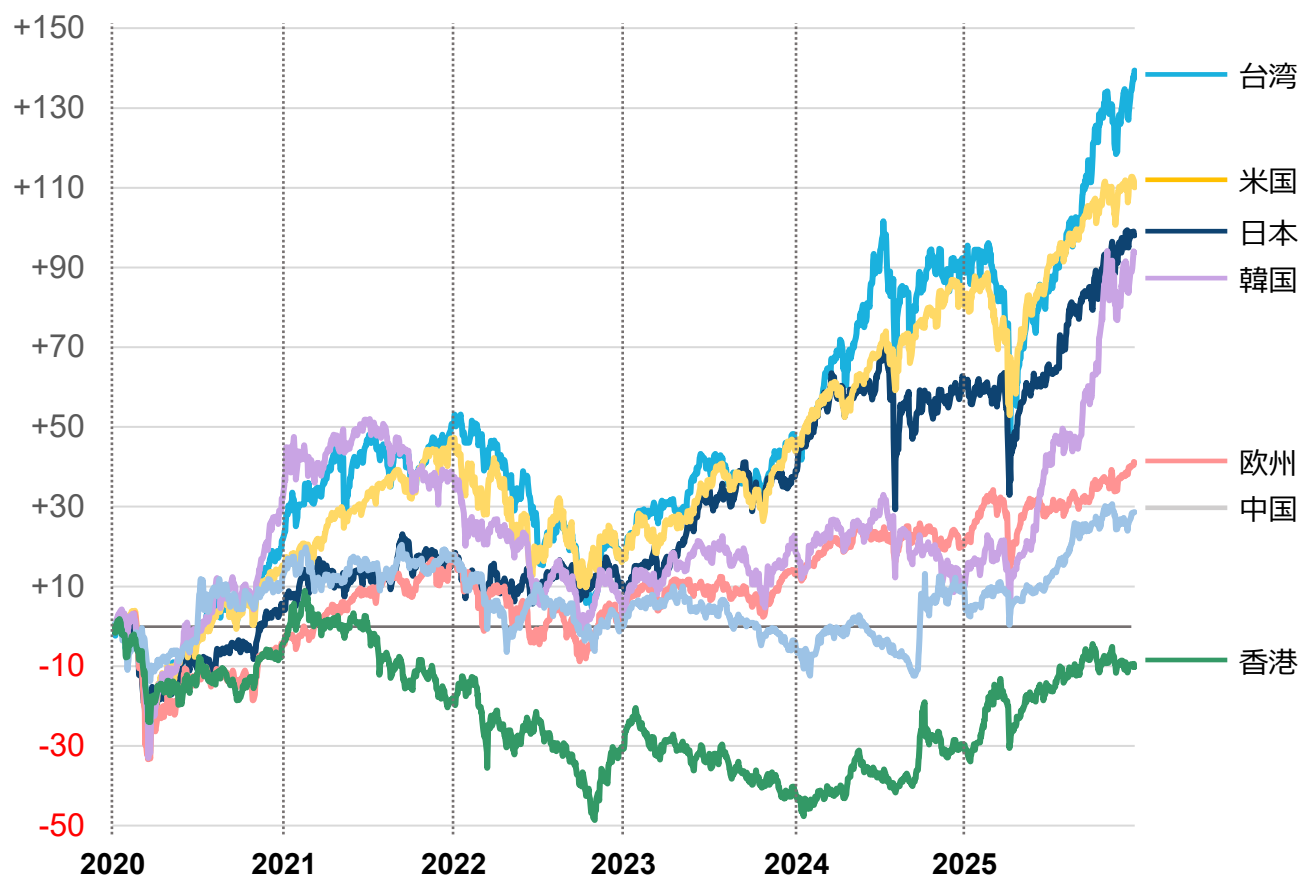


半導体・エレクトロニクスが成長をけん引

台湾株式市場は主要市場を上回る成長

エレクトロニクス・半導体・AIの成長が台湾株式市場を牽引しています

世界の主要株式市場 株価指数の比較 (%)

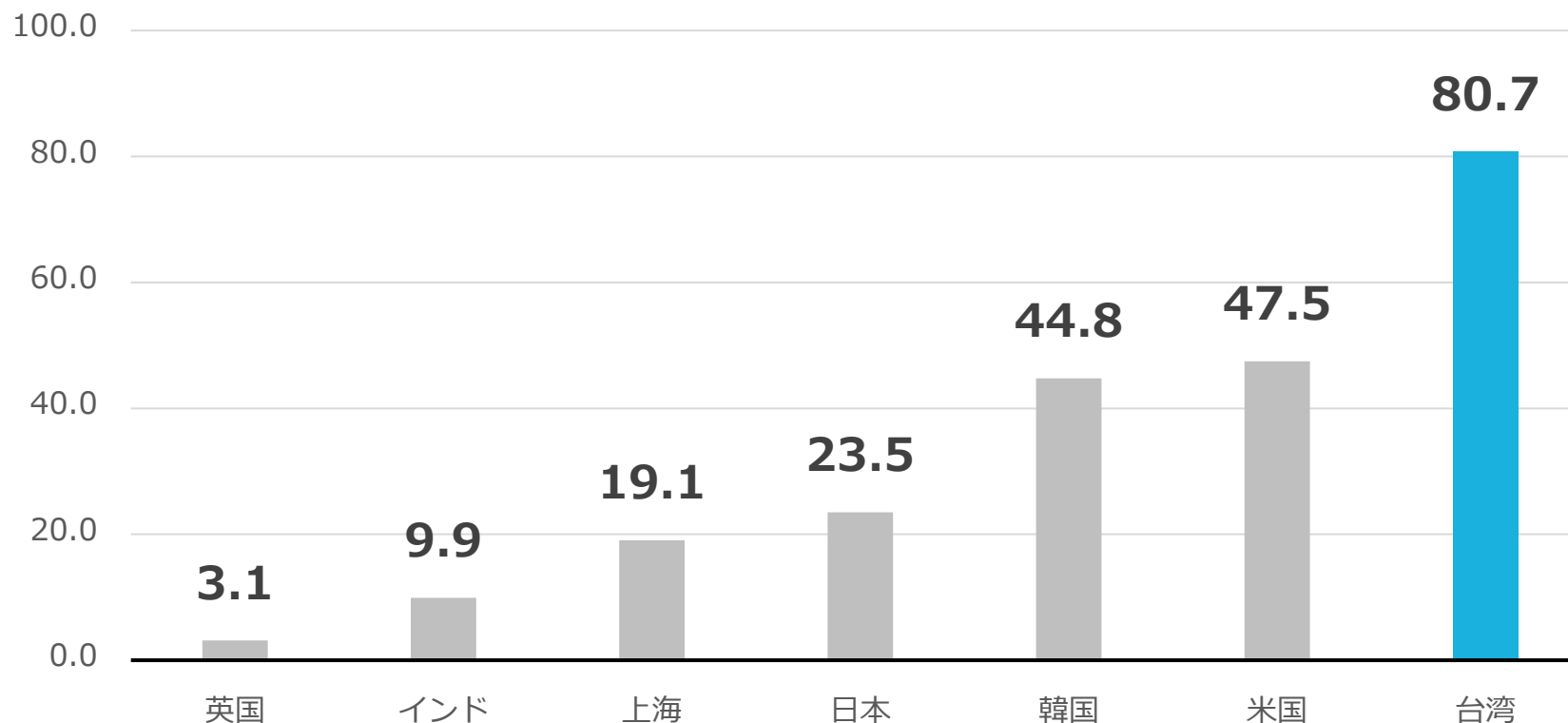


※2020年年初の株価をもとにインデックス化。データ期間は、2020年年初～2025年末。

半導体・テック関連産業の比率が高い台湾市場

台湾市場は、半導体・エレクトロニクス関連を中心とするテクノロジー産業の構成比が他国よりも圧倒的に高い

株式市場に占めるIT産業の構成比（%）



2025年12月末時点。出所:Bloomberg

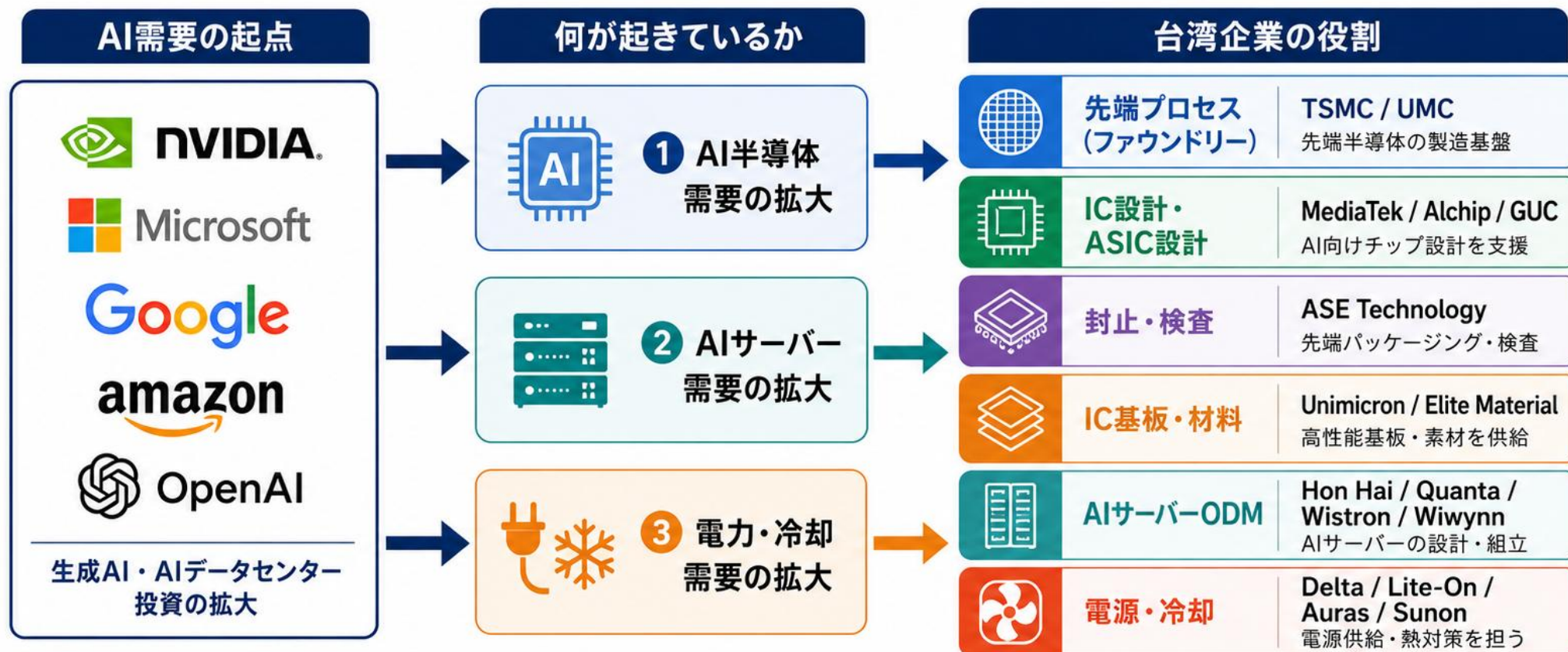
時価総額トップ10企業のうち、AI・半導体関連が6/10を占める

	ティッカー	銘柄名	業種	時価総額 (台湾ドル)	株価上昇率 (5年間累計)	PER	配当利回り
➤	1 2330	台湾積体電路製造 (TSMC)	電子	40.2兆	357.3%	23.4倍	1.4%
➤	2 2317	鴻海精密工業 (ホンハイ・プレジジョン・インダストリー)	電子	3.2兆	155.7%	16.9倍	3.1%
➤	3 2308	台達電子 (デルタエレクトロニクス)	電子	2.5兆	537.7%	41.6倍	1.2%
➤	4 2454	聯発科技 (メディアテック)	電子	2.3兆	226.8%	21.6倍	3.7%
	5 2881	富邦金控 (富邦フィナンシャルホールディングス)	金融	1.3兆	183.2%	11.5倍	4.4%
	6 2882	国泰金控 (キャッセイ・フィナンシャル・ホールディングス・グループ)	金融	1.1兆	116.3%	10.7倍	4.6%
➤	7 3711	日月光投資控股 (ASEテクノロジー・ホールディングス)	電子	1.1兆	210.3%	26.7倍	0.0%
➤	8 2382	広達電腦 (クアンタ・コンピュータ)	電子	1.1兆	325.0%	14.0倍	5.7%
	9 2412	中華電信 (チョンホワ・テレコム)	通信	1.0兆	19.2%	26.2倍	4.0%
	10 2891	中国信託金融控股 (CTBC・ファイナンシャル・ホールディングス)	金融	1.0兆	126.4%	12.3倍	5.0%

2025年12月末時点。株価上昇率は20年年初～25年年末。1台湾ドルは約5円。

AI・半導体サプライチェーンの中心

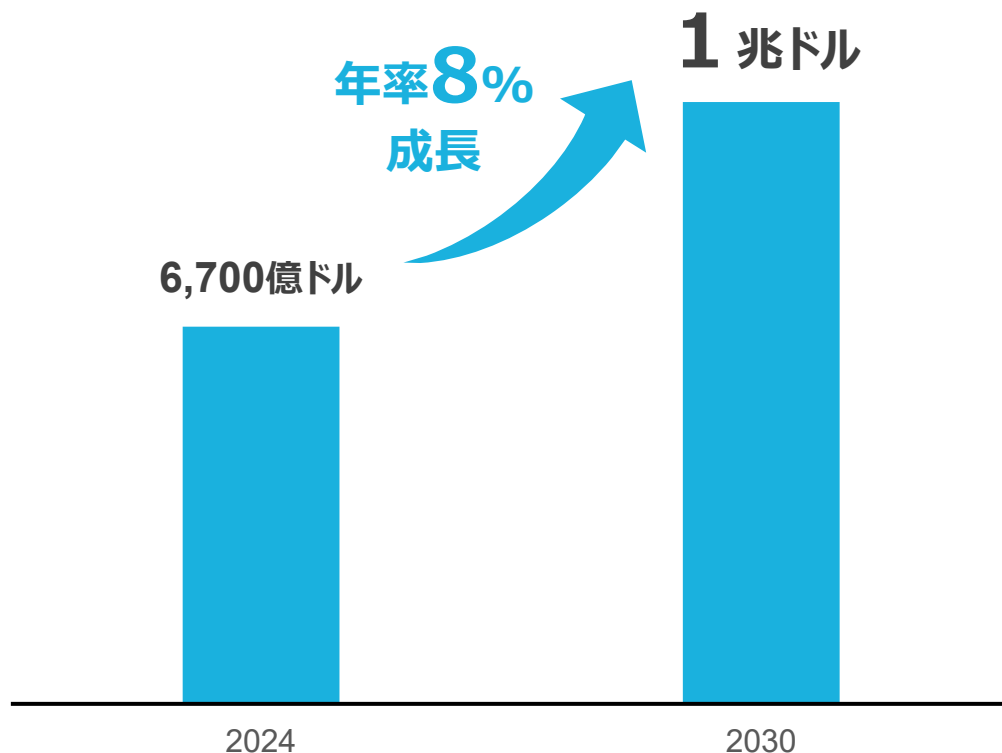
米国AI大手の需要拡大に対し
IC設計からサーバー製造・電源・冷却まで、台湾企業がAIを支えるエコシステムがある



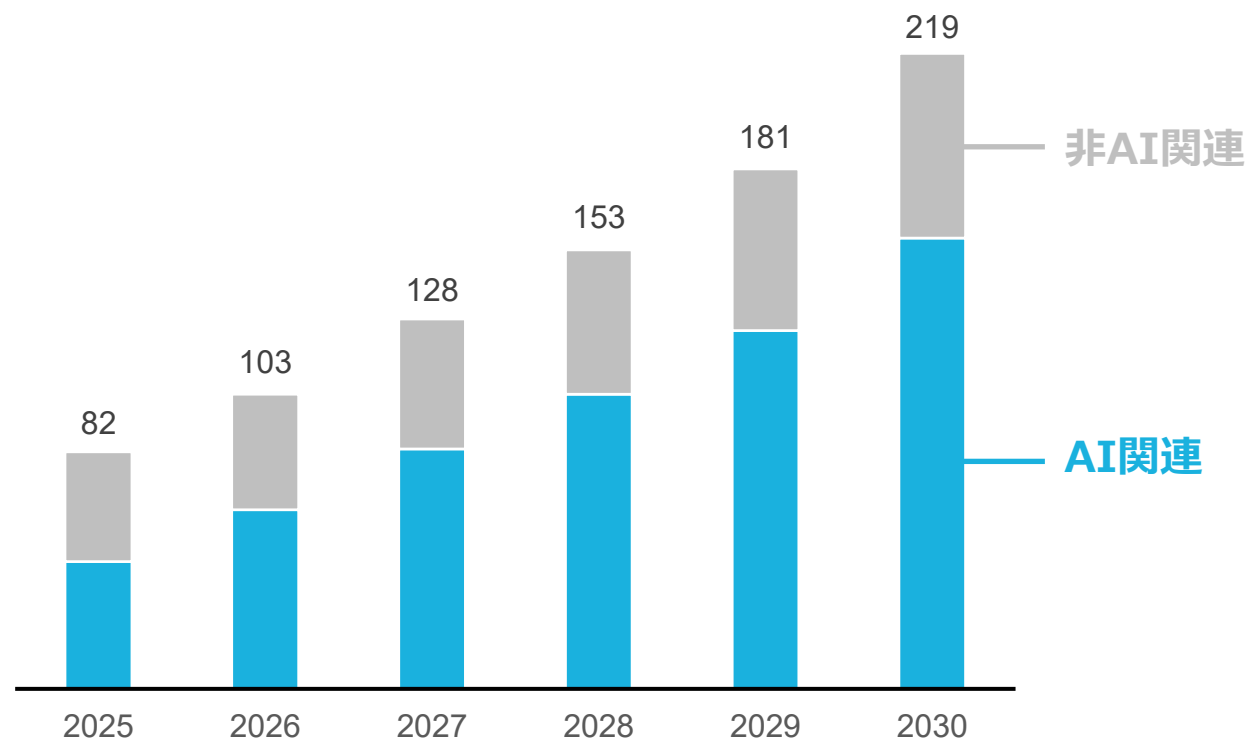
半導体とデータセンターの世界的な需要拡大

生成AIの普及により、半導体市場とデータセンター需要が拡大。
AIサーバー、電源・冷却、基板・材料など台湾企業の事業機会にもつながっている。

世界の半導体市場規模



世界のデータセンター需要見通し (GW)



魅力

2

Quality

成長と還元を両立できる市場

台湾市場は「成長」だけではない。

高い株主還元と、それを支える経営の質が、長く付き合える市場であることを示している。

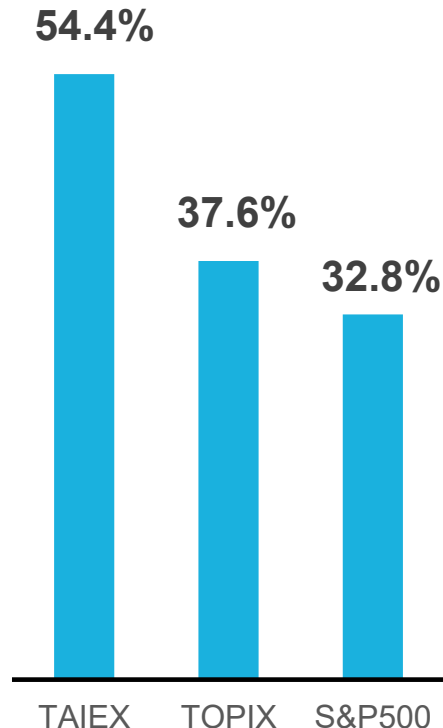
台湾株は「成長」だけでなく「還元」も狙える
市場配当利回り・配当性向ではS&P500を超える

PERと配当利回りの市場別比較

	PER	配当利回り
米国 (S&P500)	25.4	1.1%
台湾 (TWSE)	23.2	2.3%
日本 (TOPIX)	17.9	2.2%
中国 (上海総合)	17.9	2.3%
韓国 (KOSPI)	16.9	1.5%
欧州 (STOXX Europe600)	16.6	3.0%
香港 (香港ハンセン)	11.9	3.0%

※2025年年末時点

市場別 配当性向比較



※2025年年末時点の参考値

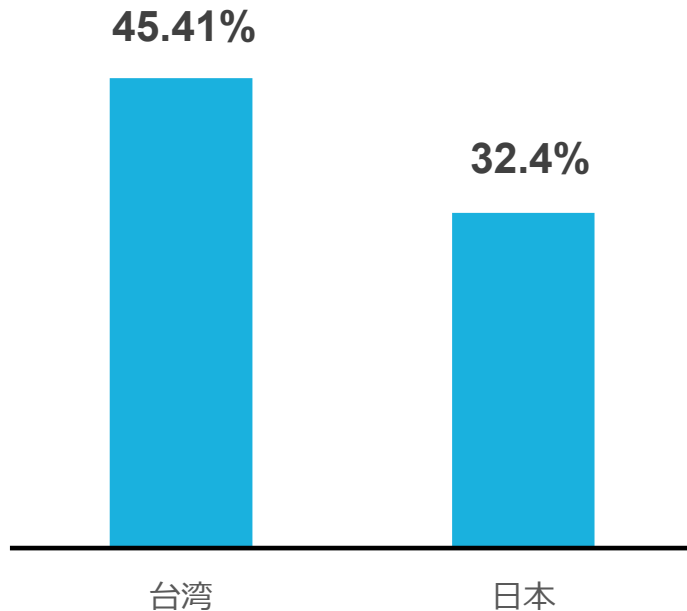
出所：TWSE、JPX、S&P Dow Jones Indicesなどを元に作成

成長企業にもみられる
高い株主還元姿勢

企業	事業内容	還元方針
 MediaTek	 ファブレス 半導体	配当性向 80～85%方針
 Delta	 電源・冷却・ AIインフラ	配当性向 50%以上方針
 Getac	 ラグド端末・ 産業DX	配当性向 80%前後

台湾市場では、海外投資家の保有比率が時価総額の約45%に達している。
ESG開示やコーポレートガバナンス評価に加え、女性取締役比率の上昇など、非財務面の進展が、海外投資家が長期で向き合いやすい市場の土台になっている。

海外投資家比率
(台湾 vs 日本)



ESG Recognition

S&P Dow Jones
Indices
A Division of S&P Global

Best-in-Class
EM Index #1

MSCI

MSCI EM
Selection Index #1

FTSE
RUSSELL
An LSEG Business

FTSE4Good
EM Index #1



CG Watch 2023 #3

ジェンダーギャップ指数（2024年）比較

台湾は米国・日本・韓国・中国を上回る水準

国・地域	GGIスコア	順位
台湾	0.774	29位相当
米国	0.747	43位
シンガポール	0.744	49位
韓国	0.696	95位
中国	0.684	107位
日本	0.663	119位

出所：
TWSE（2024年末）、JPX2024 Shareownership Survey
（FY2024末/2025年3月末）

出所：
世界経済フォーラム『Global Gender Gap Report 2024』、
台湾は台湾政府が同手法で算出

魅力

3

Risk Management

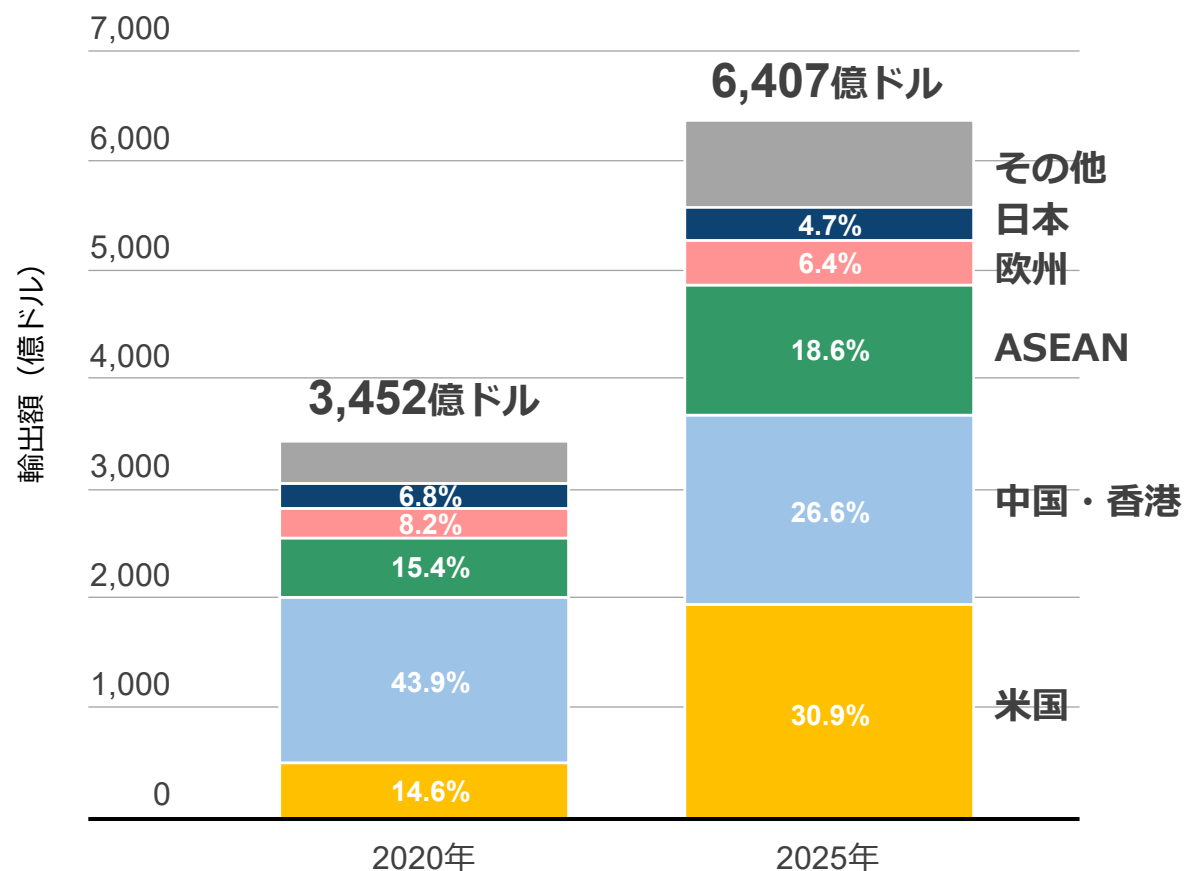
分散でリスクに備える

「地政学リスクが心配」——その問いに、
台湾企業は“分散”で答えている。輸出先も、製造拠点も、特定の地域に依存しない構造へ。

輸出先の分散が進む

輸出先は中国から米国へ。AI需要が台湾の輸出構造を変えている

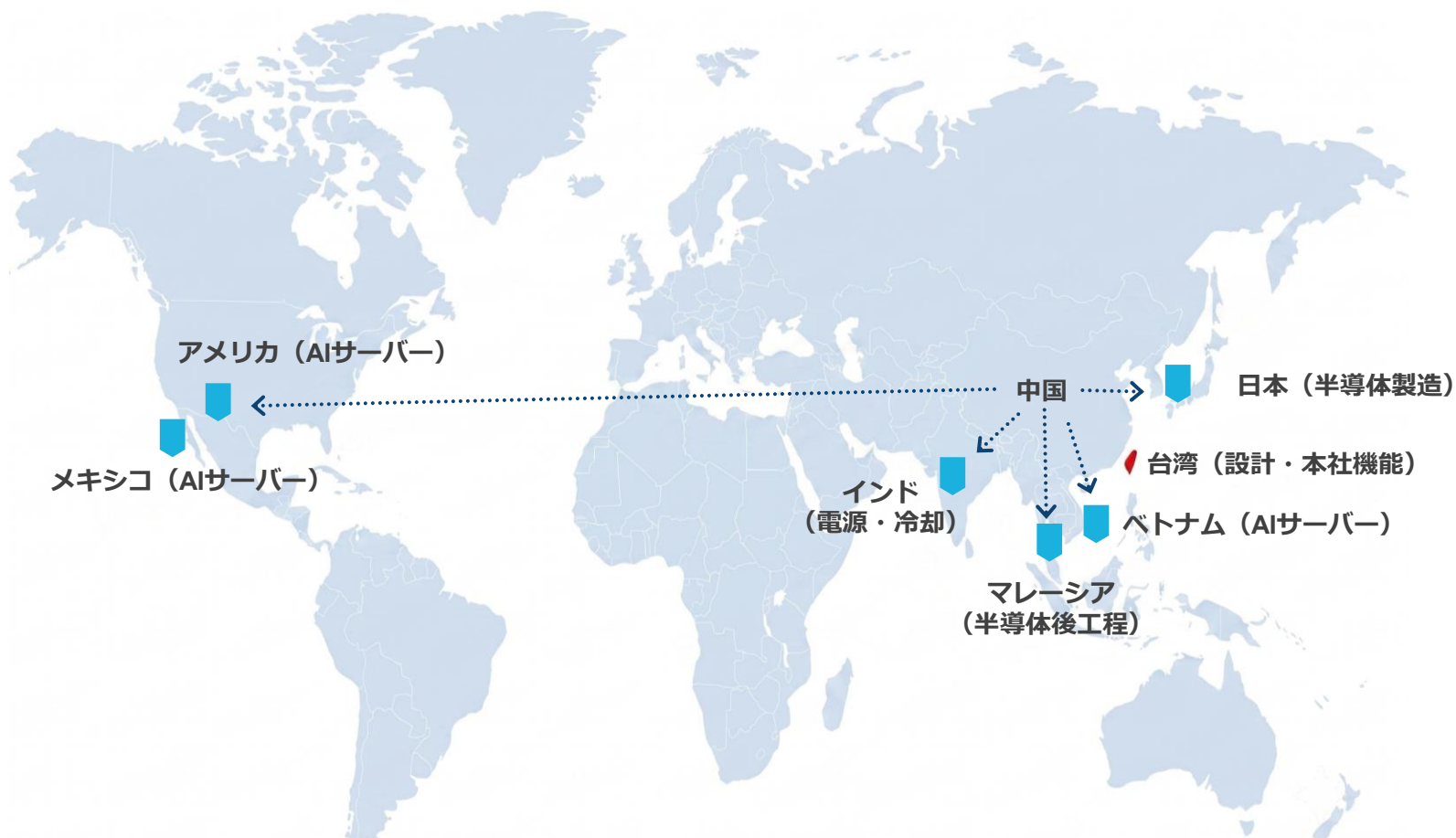
台湾の輸出先構成の変化（2020年 vs 2025年）



- ◆ 2025年の台湾輸出総額は6,407億ドルで過去最高
- ◆ 米国向け輸出は1,983億ドル、前年比+78.0%
- ◆ 約26年ぶりに、**米国が台湾最大の輸出市場になった**
- ◆ 背景には、AIサーバー・データセンター関連需要の拡大がある

生産も、中国一極から、台湾・北米・東南アジアへ分散

AIサーバー需要の急拡大と地政学リスクへの対応を背景に、台湾系半導体・ODM/EMS企業は生産拠点を中国以外にも広げている。



企業別の動き



Hon Hai (Foxconn)

メキシコ・米国・ベトナムなどで
AIサーバー生産を拡大



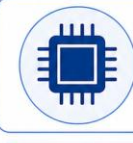
Quanta

タイ・ベトナム・米国・メキシコなどに
AIサーバー生産網を展開



Wiwynn

メキシコ・マレーシア・台湾などで
データセンター向け供給を拡大



TSMC / JASM

日本・熊本で半導体製造を拡大
車載・産業・HPC需要に対応



Delta Electronics

ベトナム・米国・インドなどへ分散
AIデータセンター電源・冷却を供給

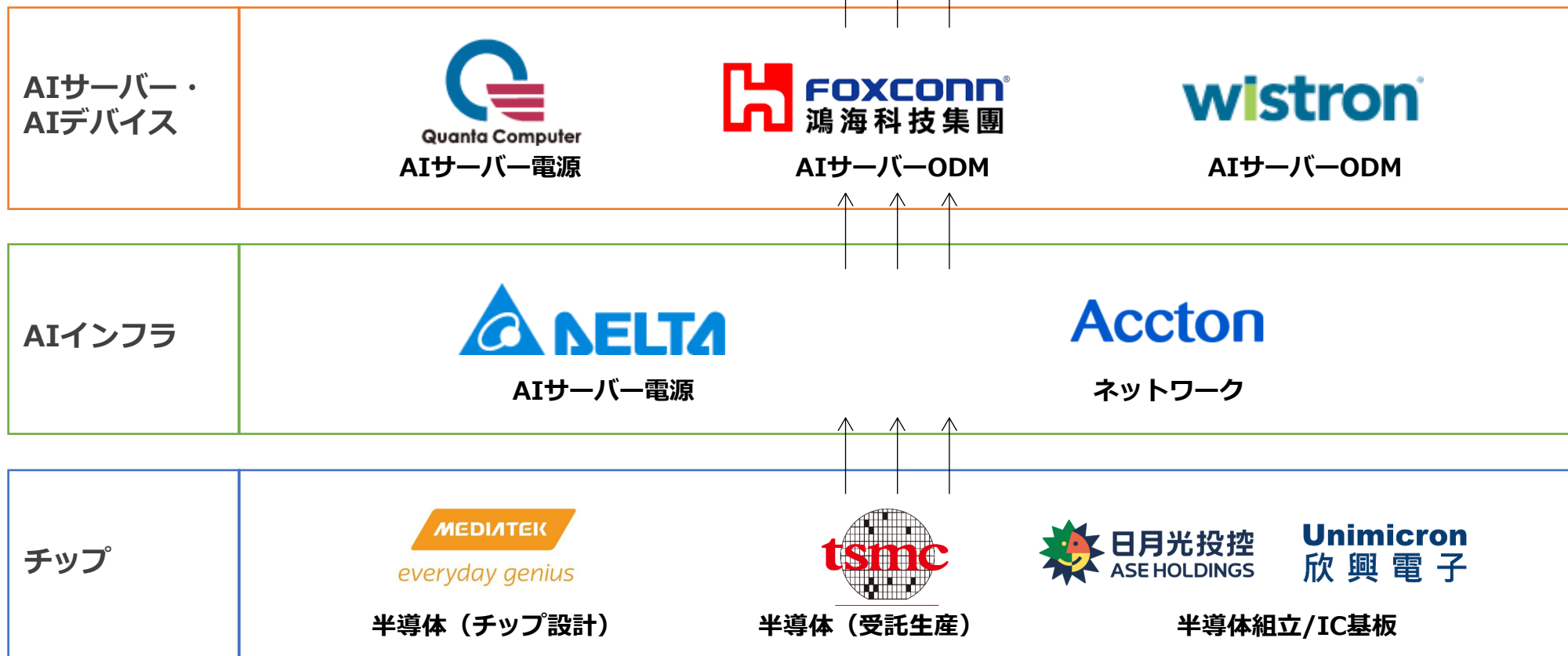
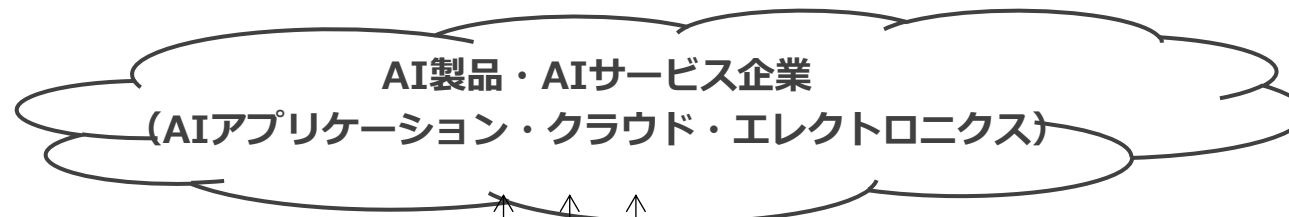
03

世界経済の成長を
牽引する台湾企業

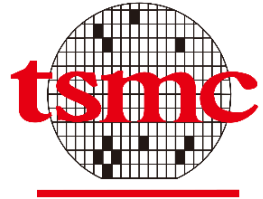


AIエコシステムを支える台湾企業

台湾には、AIの進化を支える企業が
集積しています。



TSMC ファウンドリー（受託生産）世界No.1

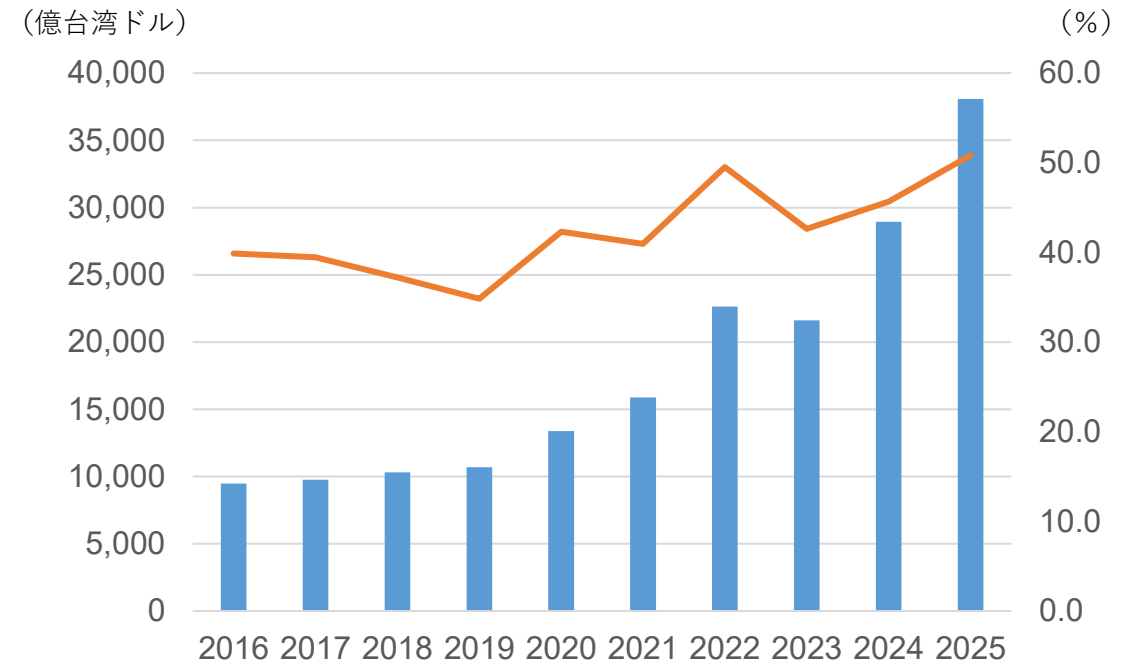


- 半導体受託生産（ファウンドリー）世界トップ企業で、市場シェアは7割弱
- 製造ラインを持たない（ファブレス）企業向けにIC（集積回路）を提供。
- 時価総額291兆円と台湾証券取引所で第1位。

株価

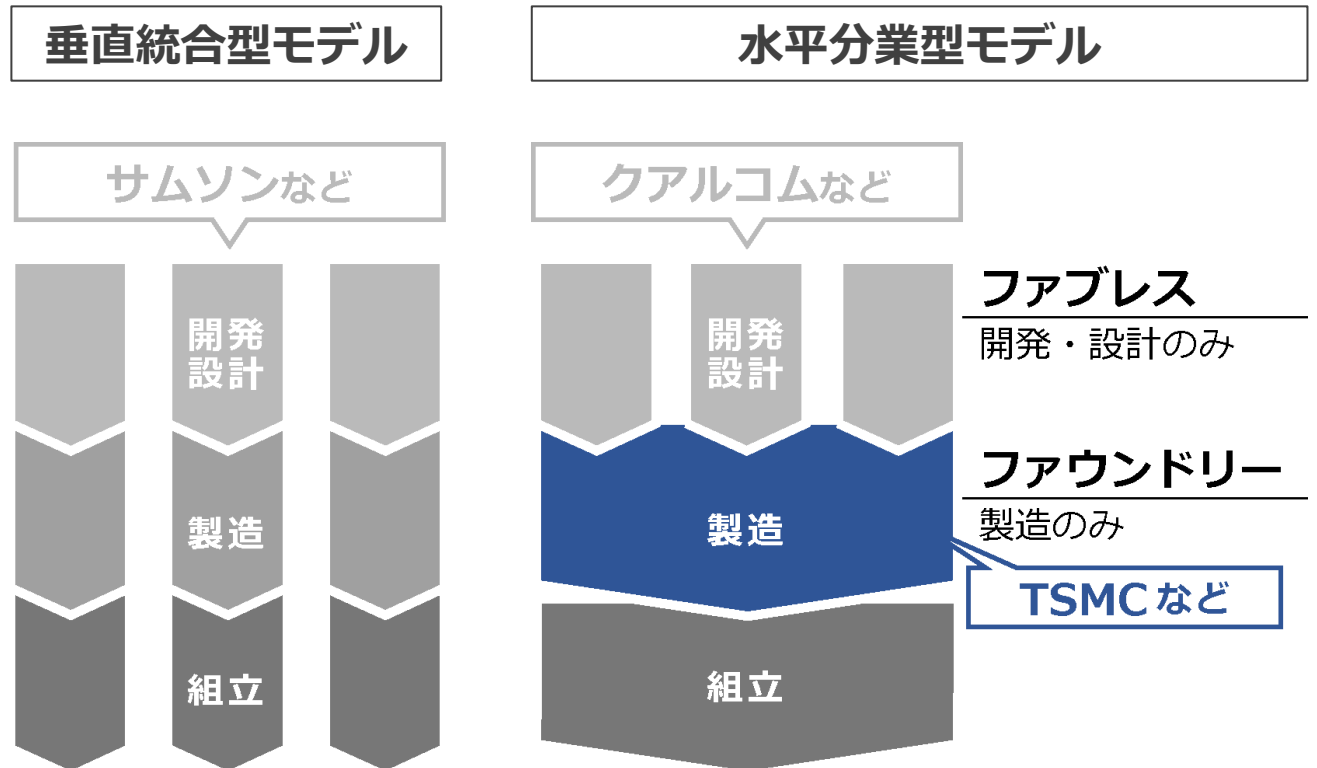


売上高と営業利益率



TSMC ファウンドリー（受託生産）世界No.1

- 世界に先駆けて水平分業型の半導体受託生産で成功
- AI、自動運転などのIT革命が成長を牽引
- アップルのスマートフォン依存から脱却が進む
- NVIDIAは2025年から今後4年間で、パートナー企業との提携を通じて、米国で最大5000億ドル相当のAIインフラを生産する計画で、そのパートナー企業の1社。
- 創業者のモリス・チャン氏はForbes誌で「アジアで最も優れた経営者」に選出



鴻海（ホンハイ）精密工業 EMSとAIサーバーODM世界最大手



- EMS(電子機器の受託生産を行うサービス) の世界トップ企業。
- iPhoneを初代から受託製造してきたが、現在AIサーバーの受託製造もおこない、市場で4割強のシェアを有する。

株価

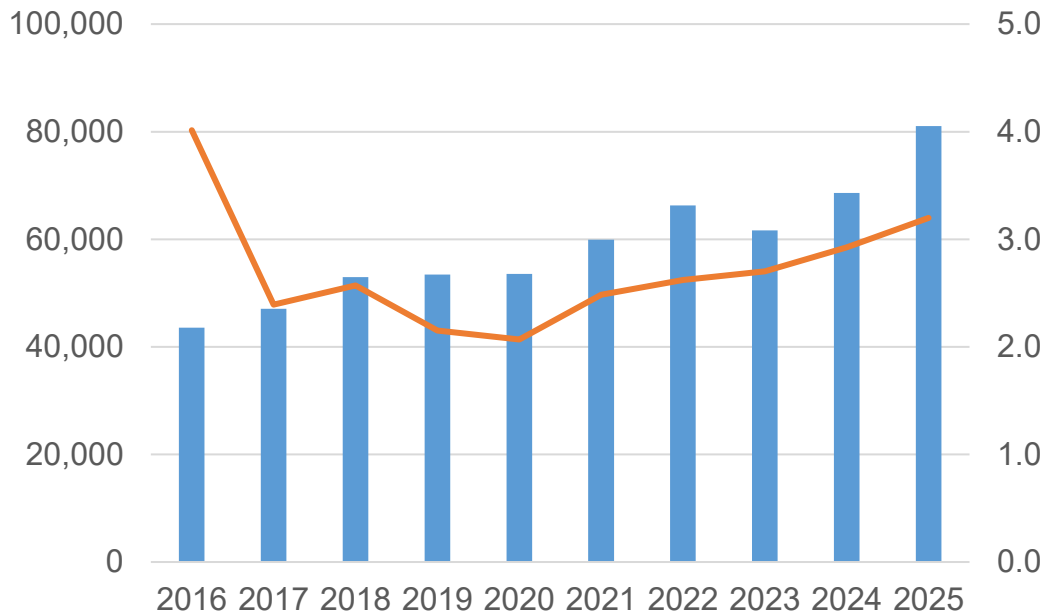
(台湾ドル)



売上高と営業利益率

(億台湾ドル)

(%)



鴻海（ホンハイ）精密工業 EMSとAIサーバーODM世界最大手

- AIサーバー、PC、スマートフォンなどの電子機器を受託生産する世界最大手
- アップル製品をはじめ、世界の有力メーカーの製品を生産。
- 従業員数100万人以上で製造業で世界最大規模
- 迅速な意思決定、金型技術に支えられた品質、実行スピードで突出
- AI、EV関連EMSを今後の成長領域と位置付けている。AIサーバーでは4割強の市場シェアを誇る

事業環境に合わせて受託製造を変化

1990年代～

PC向けマザーボード・
液晶パネル



2000～20年代

スマートフォン
「iPhone」



2025年

AIサーバー



これから

EV・ヘルスケア・
ロボット



MediaTek スマホSoCからAI ASIC領域へ拡大

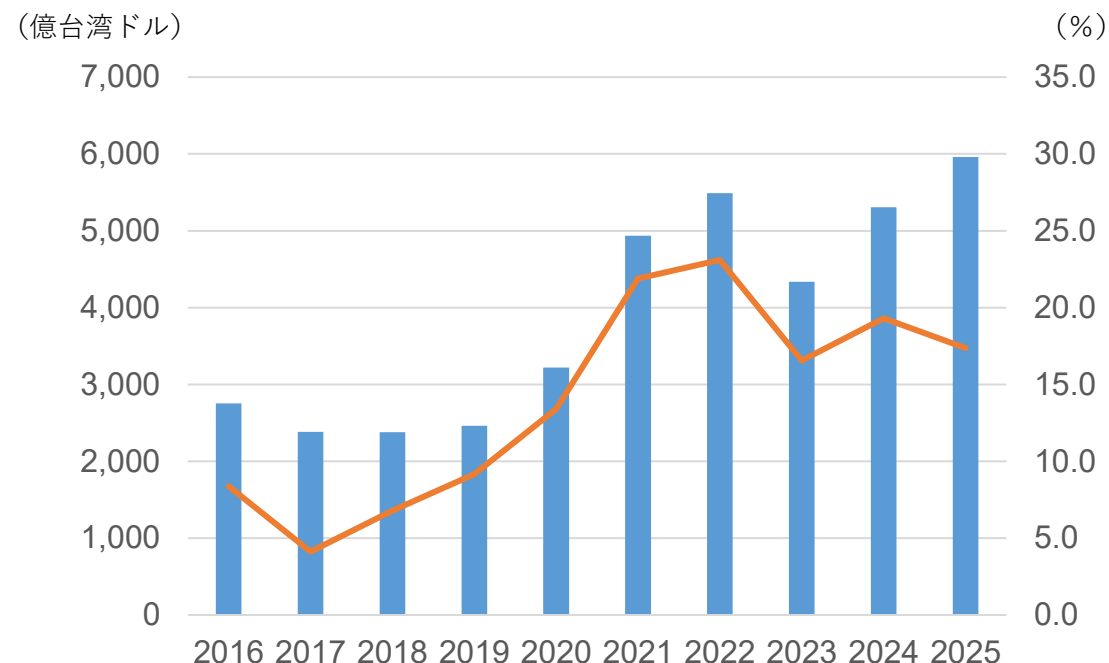


- スマホ向けSoC (System on Chip) の半導体設計のファブレス（工場を持たない）半導体メーカーで世界シェア1位。
- AI ASIC（カスタムチップ）でさらなる成長を目指す
- 設備投資を必要としないため、配当性向80%と高い水準

株価



売上高と営業利益率



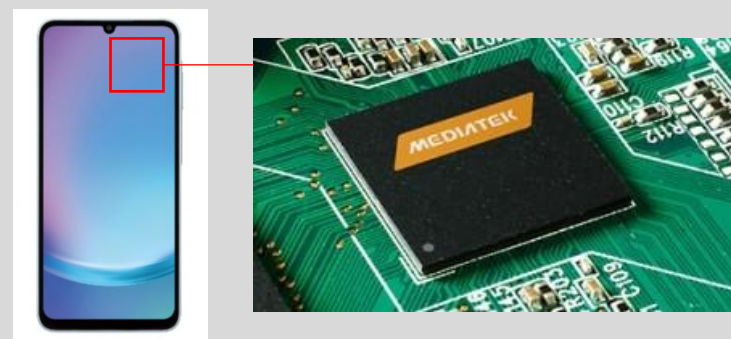
MediaTek スマホSoCからAI ASIC領域へ拡大

- 年間20億台以上のデバイスにSoCを提供しており、世界最大のスマートフォン向けSoCサプライヤー
- スマートフォン領域で培った強みを基盤に、車載、クラウドアプリケーション向けAI ASIC（カスタムチップ）、AIスマホ、PC向けにも注力。
- TSMCのCEOも務めた蔡CEOがリードし、TSMCと協力的なパートナーシップ関係
- 設備投資を必要としないビジネスモデルのため、配当性向が高く、25年は80%

SoCとは、スマートフォン等の高性能化・コンパクト化に不可欠な心臓部です。

◆SoCの役割

- CPU：全体演算処理
- GPU：画面表示やゲームの処理
- NPU：顔認識や翻訳などのAI処理
- Modem：5GやWi-Fiなどの通信
- ISP：写真や動画の処理



ASE Technology OSAT（後工程受託）で世界シェア1位



- 半導体の組み立て～テストを担う後工程の受託（OSAT）で世界シェア1位
- AI向け先端パッケージング技術に強みを持ち、高性能GPU・AI半導体を支える

株価

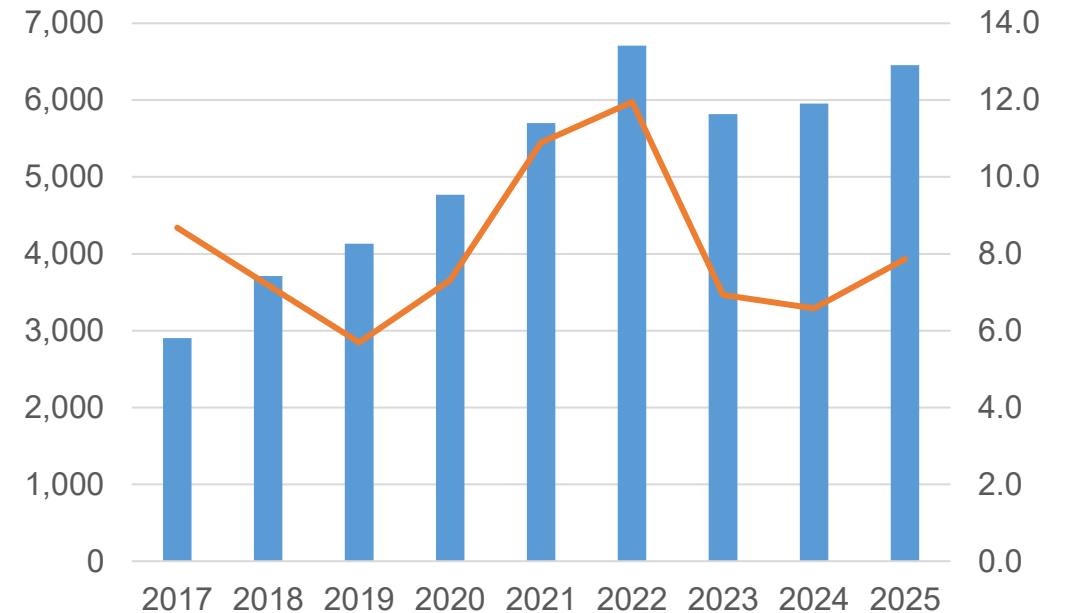
(台湾ドル)



売上高と営業利益率

(億台湾ドル)

(%)



ユニマイクロン 半導体パッケージ基板世界最大手

Unimicron
欣興電子

- 半導体パッケージ基板（IC基板）で世界トップクラスのメーカー。
- NVIDIA向けAI半導体などに使われる高多層・高密度基板を供給。
- AIサーバー需要の拡大を背景に、先端パッケージング分野で成長が期待される。

株価

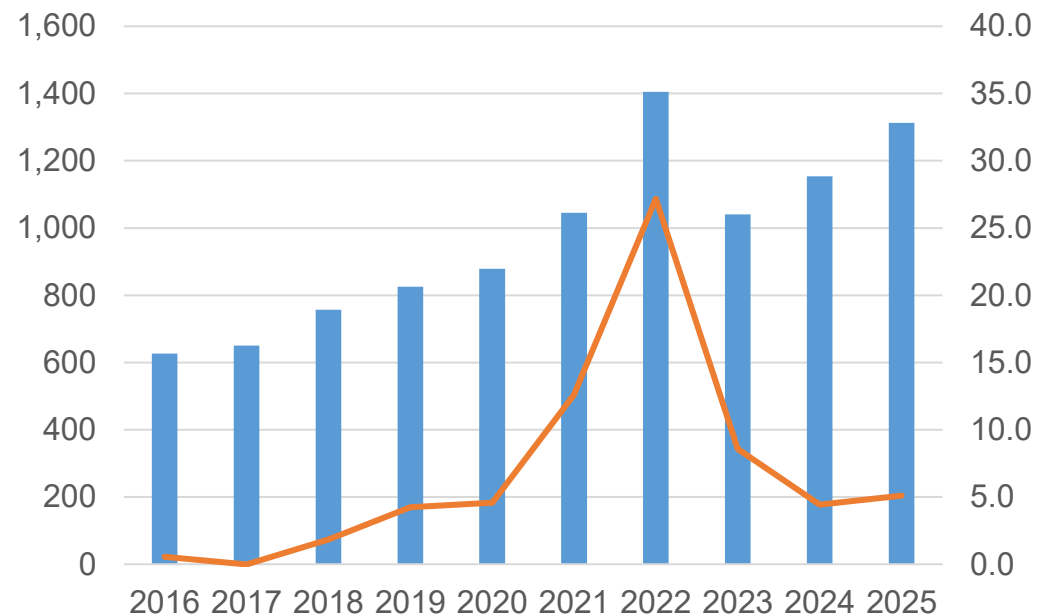
(台湾ドル)



売上高と営業利益率

(億台湾ドル)

(%)



デルタ電子 AI向けサーバー電源で世界シェア1位



- AIデータセンター向けの電源・液冷システムを提供し、AI向けサーバー電源で世界シェア1位。AI向けサーバー向け電源が大きく拡大
- データセンターの他に、テレビ、産業機器、EV、ビル、インフラ向けまで幅広く展開

株価

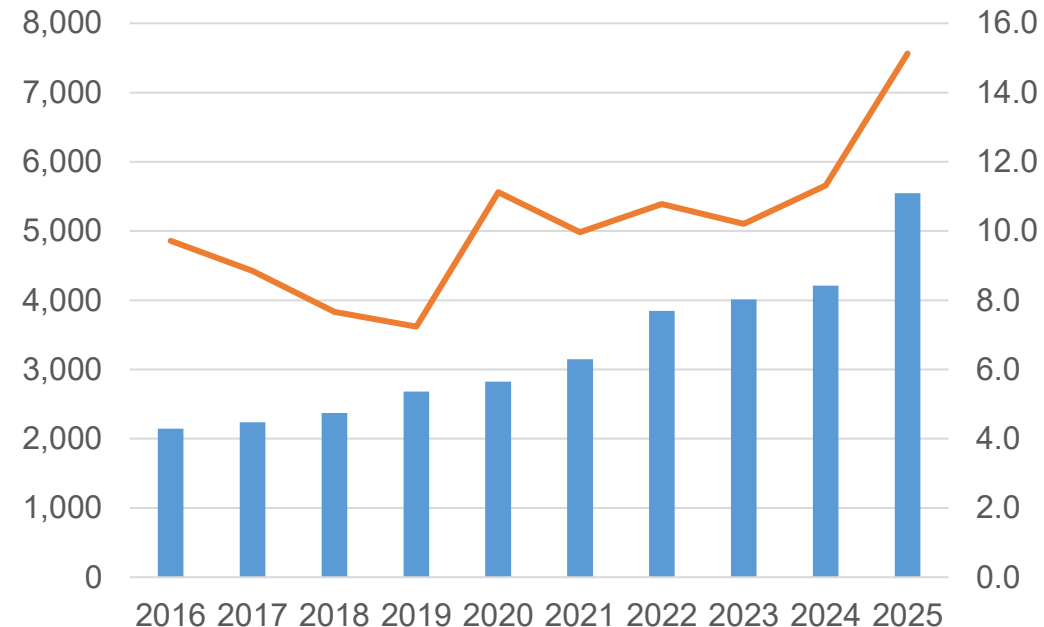
(台湾ドル)



売上高と営業利益率

(億台湾ドル)

(%)



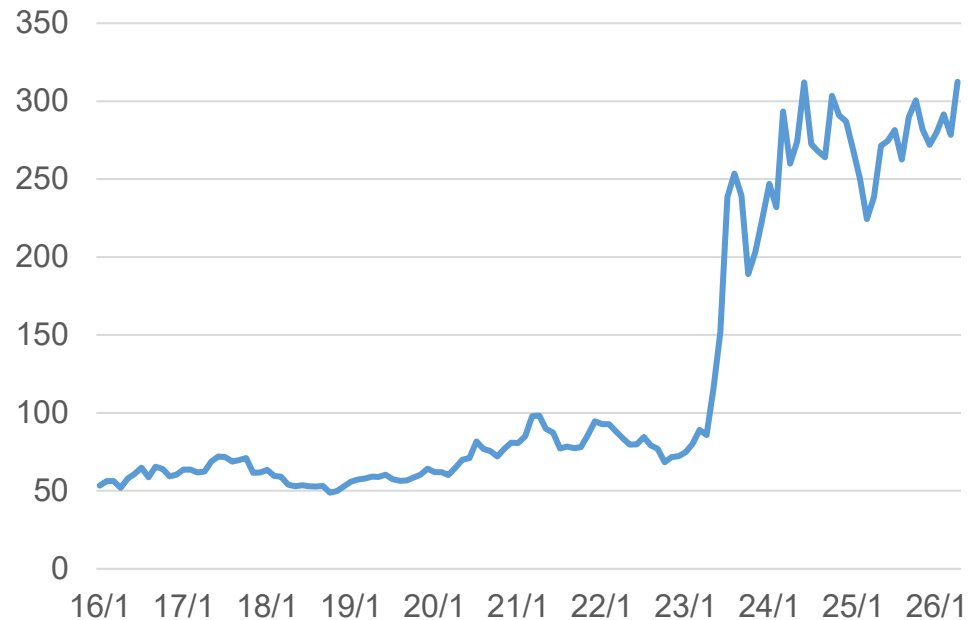
クアンタ・コンピュータ ノートPCのODMで世界シェア1位



- ノートパソコンのODM/OEM（設計・製造受託）メーカーで世界シェア1位
- データセンター（クラウド）向け製品も展開。
- 現在、NVIDIA向けなどのAIサーバーで売上高を伸ばす

株価

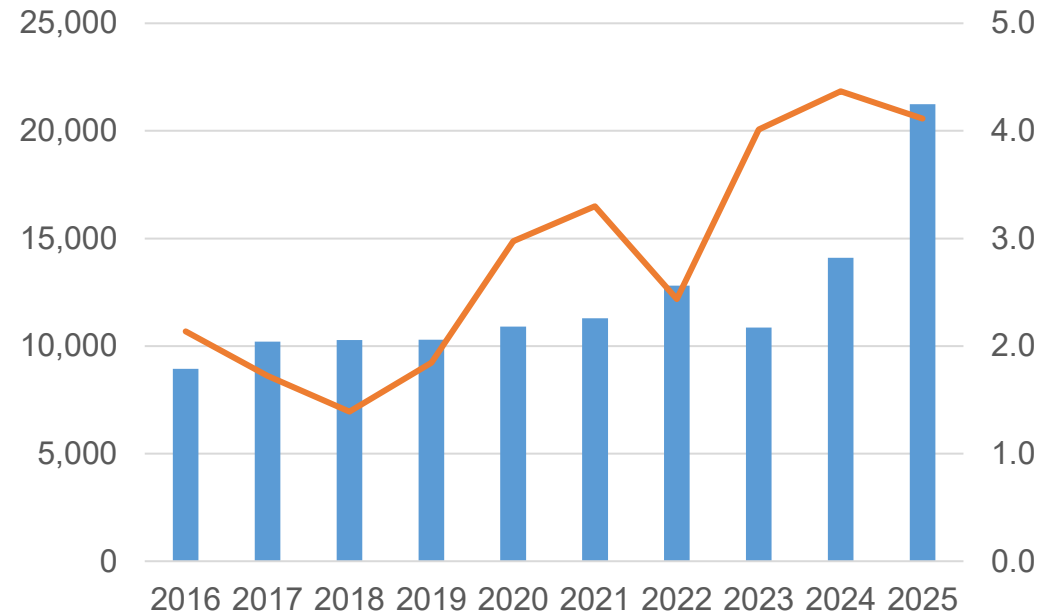
(台湾ドル)



売上高と営業利益率

(億台湾ドル)

(%)



アクトン・テクノロジー ネットワーク機器メーカー世界大手

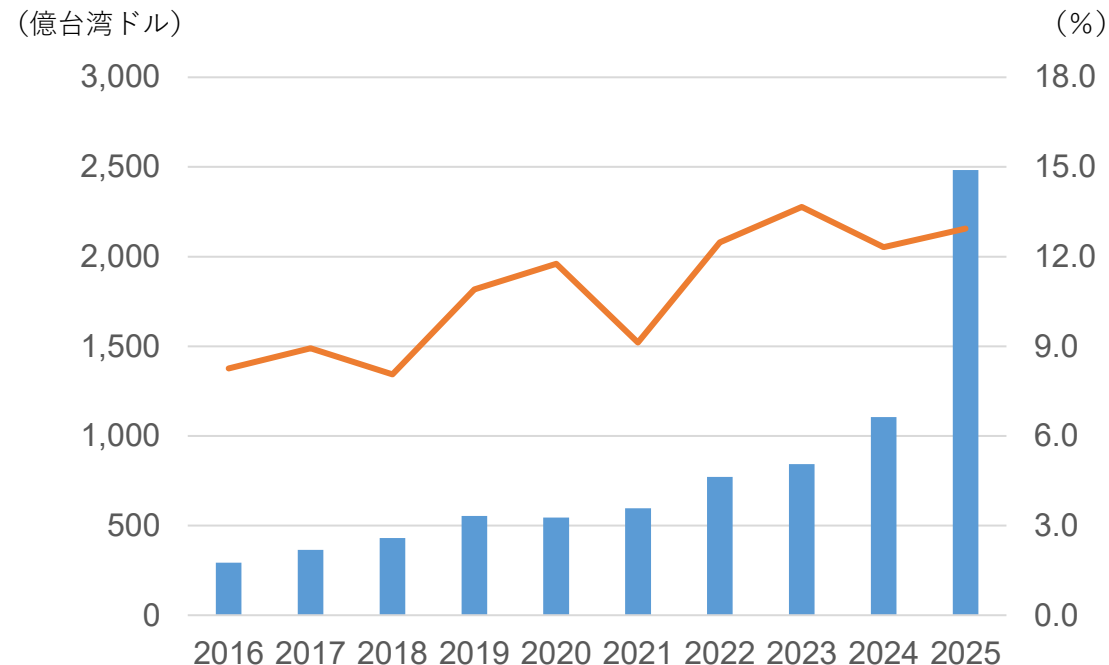
Accton

- ネットワーク機器のODM/EMS（開発・製造）の大手企業
- 世界の主要なテクノロジーベンダー向けに、ネットワークスイッチ、ルーター、AI/MLインフラストラクチャ、ワイヤレスデバイスを提供
- Cisco、Juniper、Dell、Metaなどとパートナーシップ

株価



売上高と営業利益率



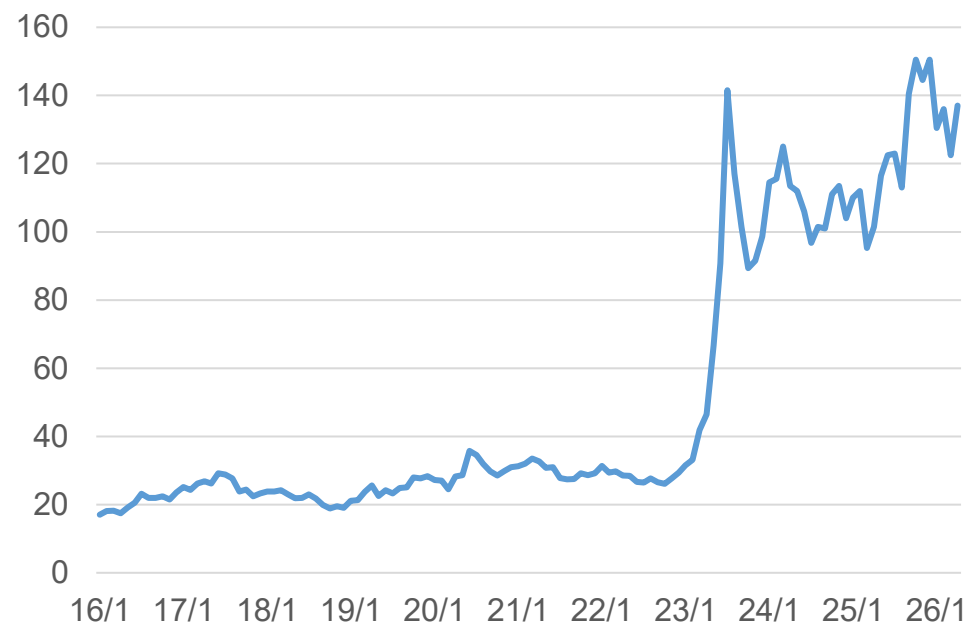
ウィストロン AIサーバーODM世界大手



- AIサーバーやクラウド向け機器を手掛ける台湾大手ODMメーカー
- NVIDIA向けAIサーバー需要の拡大を追い風に成長が加速。2025年には、AI関連製品が同社の総収益の約70%を占める

株価

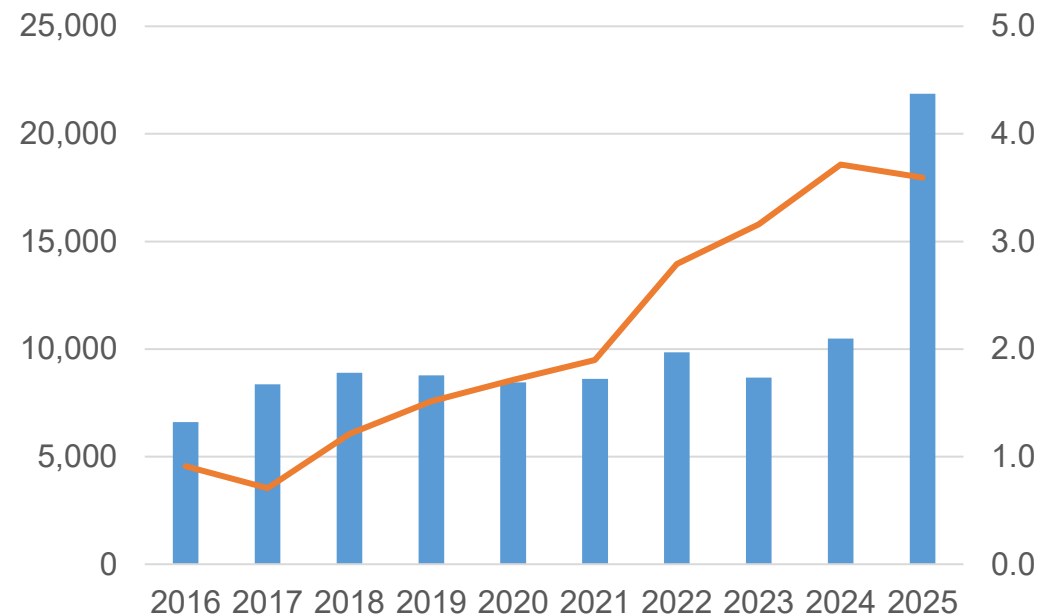
(台湾ドル)



売上高と営業利益率

(億台湾ドル)

(%)



AIだけではない！世界経済を支える台湾企業

台湾企業はAIだけでなく、産業DX・ヘルスケア・消費財など幅広い分野で世界経済を支えています。



ラグド（高耐久）PC



FA空圧機器



産業用コンピューター

産業向け・DX



医薬品製造受託



創薬型バイオ

ヘルスケア・バイオ



アパレル製造受託

消費財

Bora Pharmaceuticals 医薬品開発製造受託メーカー



- 2007年創業、医薬品の開発製造受託(CDMO) メーカー。医薬品業界におけるTSMCやHonHaiのように、医薬品の開発・製造に特化する。
- 北米を拠点に事業を展開し、売上高の90%以上が台湾以外。
- M&Aで事業規模を拡大し、2022年からはバイオCDMO市場にも参入

株価

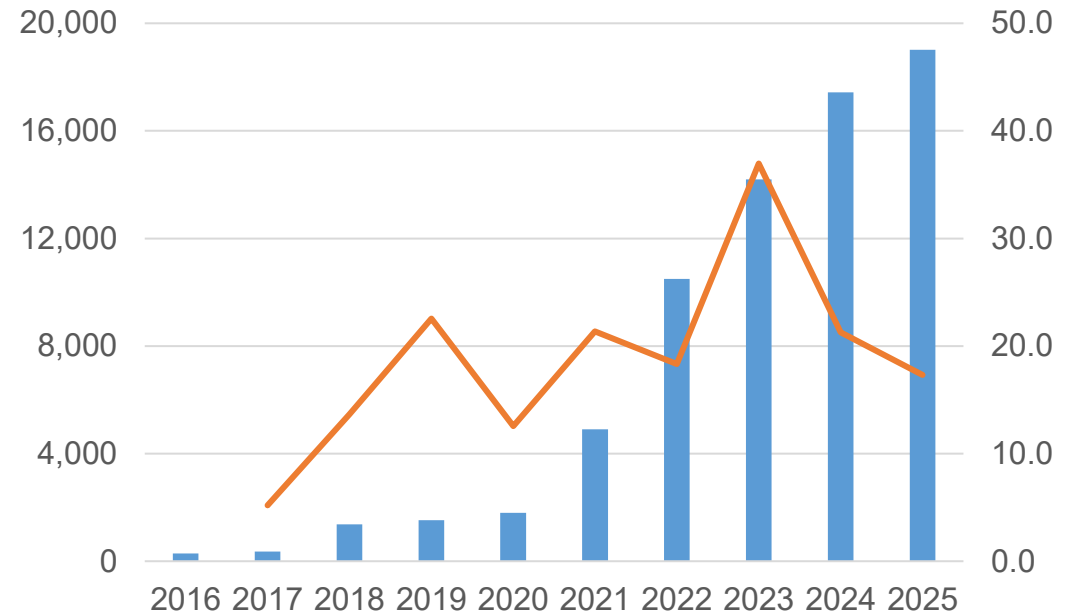
(台湾ドル)



売上高と営業利益率

(億台湾ドル)

(%)



ファーマエッセンティア バイオ医薬メーカー



- 2003年創業、骨髄増殖性腫瘍（MPN）の血液疾患領域の治療薬を開発。米国、日本など50か国近い地域で承認を得る
- ガンや免疫領域での新薬パイプラインの研究開発を進める

株価

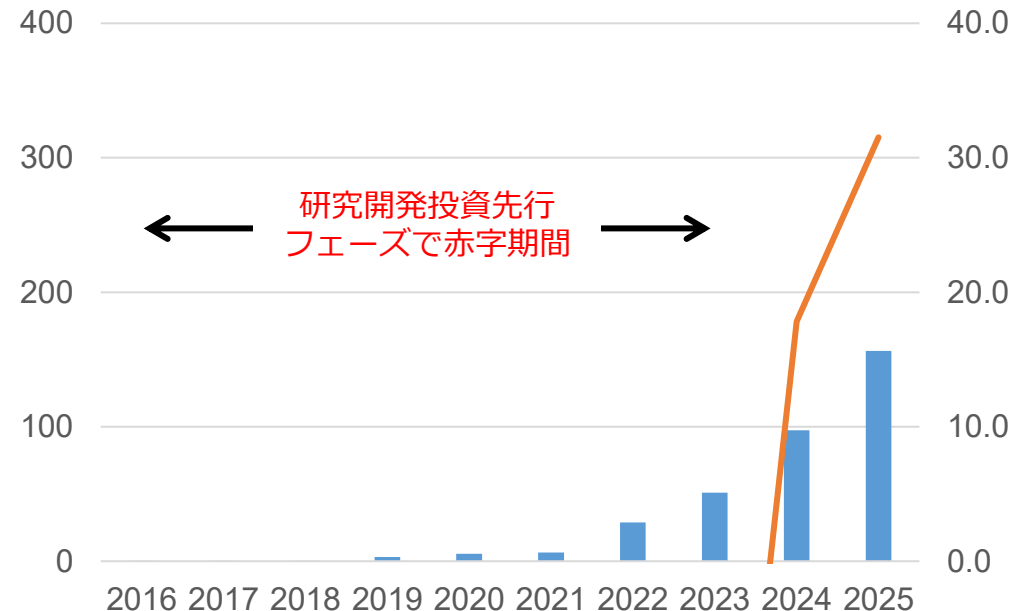
(台湾ドル)



売上高と営業利益率

(億台湾ドル)

(%)



Getac ラグド（高耐久）PC世界シェア3位



- 警察・消防・軍・インフラ向けラグドPCを展開し、市場シェアは世界3位
- ラグドPCの他に、自動車部品、航空宇宙部品なども展開
- Edge AIや防衛・公共安全分野のデジタル化を背景に、現場で使うAI端末の需要拡大が期待される

株価

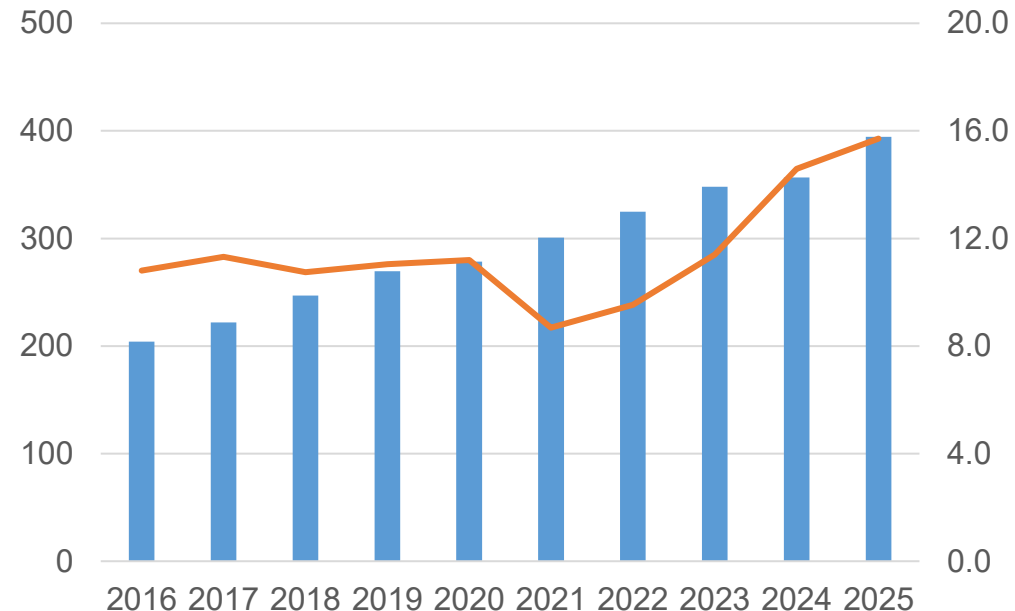
(台湾ドル)



売上高と営業利益率

(億台湾ドル)

(%)



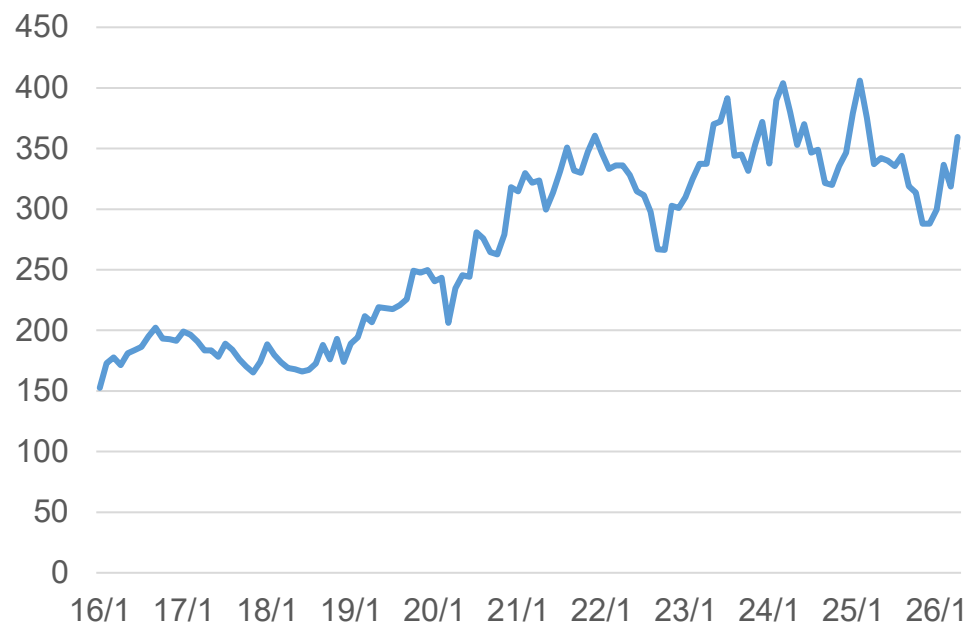
アドバンテック 産業用コンピューター世界大手

ADVANTECH

- 工場、物流、医療、交通、エネルギー向けの産業用PCや組み込みコンピュータを提供
- 工場や物流現場でAIを活用する「エッジAI」の拡大により需要拡大が期待される

株価

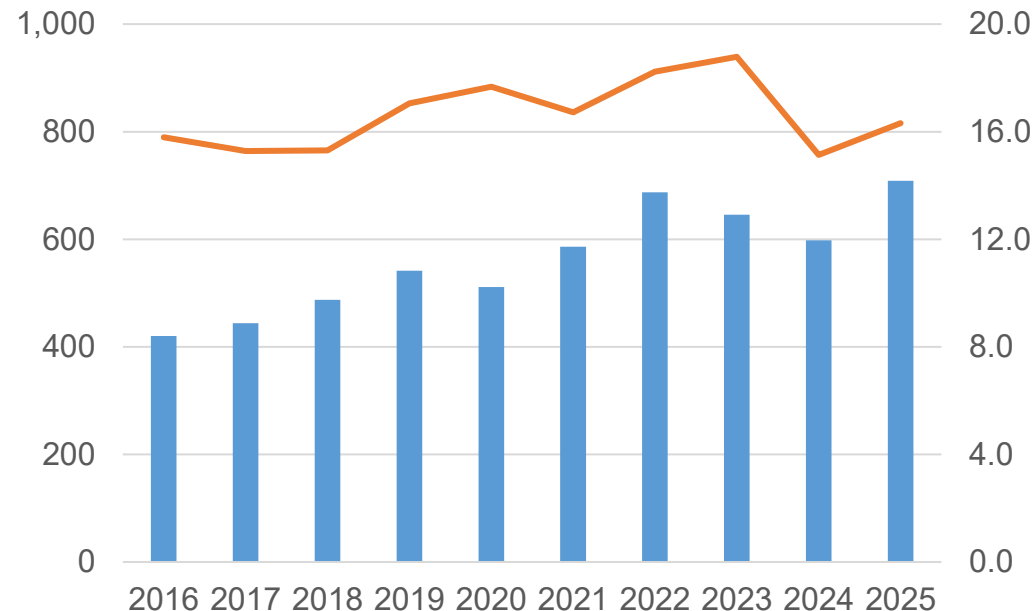
(台湾ドル)



売上高と営業利益率

(億台湾ドル)

(%)



エアタック FA空圧機器で中国国内で成長



- シリンダー、電磁弁、エアユニットなどを展開し、中国空圧機器市場でトップクラスのシェアを誇る
- 工場のスマートファクトリー化を背景に、工場の自動化需要拡大の恩恵を受ける

株価

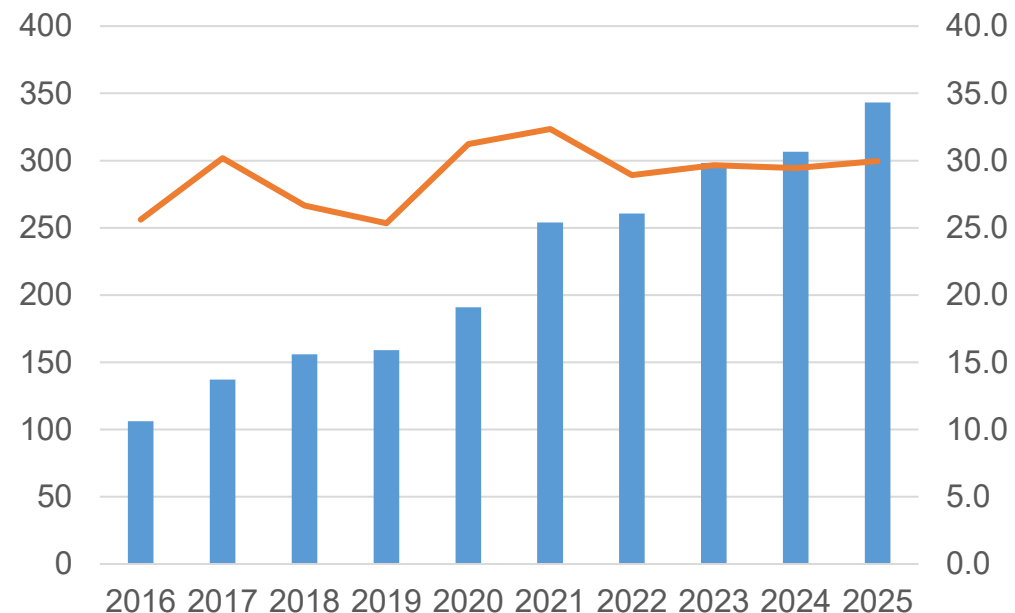
(台湾ドル)



売上高と営業利益率

(億台湾ドル)

(%)



エクラ・テキスタイル アパレルODM（製造受託）大手メーカー



- LululemonやNikeを支えるアパレルODM。高機能スポーツウェアでは世界トップクラスのODMプレイヤー
- 素材開発から縫製までの垂直統合モデルが強み。スポーツ・アスレジャー市場拡大の恩恵を受ける成長企業

株価

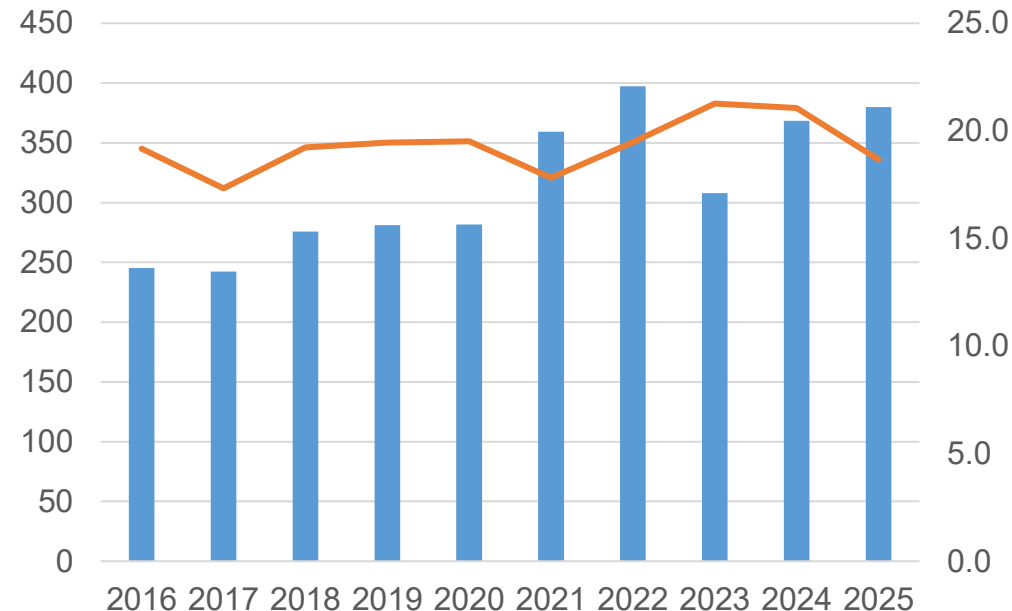
(台湾ドル)



売上高と営業利益率

(億台湾ドル)

(%)





TAIWAN STOCK EXCHANGE
臺灣證券交易所

04

台湾企業へ投資するには

台湾株式市場の概況

時価総額
約**753**兆円

参考／東証プライム
約1,171兆円

株式売買高
約**595**兆円

参考／東証プライム
約1,635兆円

外国人株主比率
約**48**%

参考／日本国内4証券取引所
約34%

台湾預託証券

10銘柄

ワラント

29,393銘柄

株式

1,079銘柄

ETF
上場投資信託

227銘柄

台湾市場：2026年6月末時点、日本市場：2026年3月末時点。

世界の主要株式市場との比較

	PER
米国 (S&P500)	25.4
台湾 (TWSE)	23.2
日本 (TOPIX)	17.9
中国 (上海総合)	17.9
韓国 (KOSPI)	16.9
欧州 (STOXX Europe 600)	16.6
香港 (香港ハンセン)	11.9

	PBR
米国 (S&P500)	5.5
台湾 (TWSE)	3.0
欧州 (STOXX Europe 600)	2.4
日本 (TOPIX)	1.7
中国 (上海総合)	1.6
香港 (香港ハンセン)	1.4
韓国 (KOSPI)	1.4

	配当利回り
欧州 (STOXX Europe 600)	3.0%
香港 (香港ハンセン)	3.0%
台湾 (TWSE)	2.3%
中国 (上海総合)	2.3%
日本 (TOPIX)	2.2%
韓国 (KOSPI)	1.5%
米国 (S&P500)	1.1%

※2025年年末時点

台湾株式市場株価指数（台湾加権指数）の推移

エレクトロニクス・半導体・AIといった世界経済の成長を受けて、株式市場は成長



台湾為替レート推移

1台湾ドル=約5.0円。
2019年以降、円安が加速



1米ドル=約31.6台湾ドル。
台湾ドルは、米ドルに対して安定して推移



台湾企業に投資するには

台湾企業への投資方法

個別株式



投資信託



ETF



先物



台湾企業に投資するには 個別株式・投資信託

個別株式：個別株式に投資できます

- アイザワ証券
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
- しん証券さかもと

投資信託：少額から台湾企業へ投資できます

- ノムラ・アジア・シリーズ - ノムラ・台湾・フォーカス
(運用：野村アセットマネジメント/販売：野村證券)
- グローイング台湾株式ファンド
(運用：三井住友アセットマネジメント/販売：ゆうちょ銀行、楽天証券、SBI証券、岡三オンライン証券)

台湾企業に投資するには ETF・先物

ETF・先物の購入方法

- ETF：台湾株式で構成される指数に連動する海外上場や東証上場ETFの購入が可能です。
 - iFreeETF キャセイ台湾テックリーダー指数 (413A 東証上場ETF)
 - NextFunds TIP FactSet 台湾イノベイティブ・テクノロジー50指数連動型ETF (412A 東証上場ETF)
 - iシェアーズMSCI台湾ETF (米国籍ETF)：マネックス証券、SBI証券、楽天証券にて購入できます。
 - db x トラックーズ MSCI台湾インデックスUCITS ETF (海外ETF)
- 先物：台湾を代表する株価指数である台湾加権指数 (TAIEX) は大阪証券取引所に上場しており、先物取引が可能です。

少額の資金から取引を始めることができます。

円建てで取引が可能です。

台湾証券取引所 ホームページ

■ 台湾証券取引所のHP

<https://www.twse.com.tw/jp/>

台湾市場の最新情報と上場商品（株式、ETF、台湾預託証券、ワラント）の情報を掲載しています。

■ 台湾株式市場・上場株式情報 ※中国語・英語のみ

<https://www.twse.com.tw/IIH2/en/>

台湾上場企業の財務情報、株価指標、株主構成、資金フロー、市場動向などを一元的に閲覧・分析できる投資家向け情報を掲載しています。

免責事項

当冊子に掲載されている情報は、当社の事業内容、経営方針・計画、財務状況等をご理解いただくことを目的として、細心の注意を払って掲載しておりますが、その正確性、完全性、有用性、安全性等について、一切保証するものではありません。

当冊子に掲載されている情報は、いかなる情報も投資勧誘を目的に作成したものではありません。投資等に関する最終ご判断は、利用者ご自身の責任において行われるようお願いいたします。なお、本情報を参考・利用して行った投資等の一切の取引の結果につきましては、当社では一切責任を負いません。

当冊子に掲載されている情報のうち、過去または現在の事実以外のものについては、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断による将来の見通しであり、様々なリスクや不確定要素を含んでおります。したがって、実際に公表される業績等はこれら種々の要因によって変動する可能性があることをご承知おきください。